



岡村病院
院内報

歩 (あゆみ)

第 44 号

発行 岡村病院
編集 歩(あゆみ)
編集委員会
平成17年5月17日

岡村病院 基本理念

私たちは、患者さん本位を第一に考え
高度な専門医療技術をもって
地域社会に貢献することを目指します。



「こいのぼり」

院長 岡村 高雄 写

今月のことば

ヤル気

誰にでも苦手というものはあります。そして苦手な事は、簡単な事でも面倒に思えて、私共はついそれから身を避けようとし、しかし苦手と言って避けていたら、いつまでたっても上手になれません。苦手を克服して名人になった人もいます。

要はヤル気。ヤル気が大事です。いくら能力があっても、ヤル気がなければ何もできま

せん。ヤル気があれば大ていの事はできます。

一生懸命に努力しても、うまくいかない事もあるし、人間関係でイヤな思いをする時もあります。それでもヤル気を失わないで、前向きな姿勢で仕事に取り組んで行けば、必ず道が開け、腕もあがります。

それがプロです。

「患者様と共に歩む」

院長 岡村 高雄
(心臓血管外科)



先日、高知医療センターの「黒潮ホール」で講演会が開かれましたので出席してきました。講師は元ハーバード大学助教授の李啓充先生で講演のタイトルは「今、日本の医療が危ない！—規制改革・民間解放推進会議がめざす米国型医療の地獄絵図—」でした。先生は1990年より2002年まで米国ハーバード大学助教授として勤務され、今後の日本の医療の行方に警鐘を鳴らしておられ、著書『市場原理に揺れるアメリカの医療』、『アメリカ医療の光と影』（いずれも医学書院刊）が大きな話題となっている方です。講演の内容は小泉政権が打ち出している「経済財政諮問会議」の構造改革プログラムの中に見取れる日本の医療の将来に対する警鐘でした。皆様は『聖域なき構造改革』が推進されていることはご承知の事と存じます。この中の改革プログラムの一つとして「医療、介護、福祉、教育などの分野に競争原理を導入します」と謳われており、株式会社の病院への参入に門戸を開こうとしています。株式会社による病院経営は既に米国では行われており、営利病院の経営戦略として競争相手の病院を買収して市場を独占し、高い診療費を患者様に請求する。コスト削減の為にベテラン看護師の解雇や不採算部門の切り捨てを行う。不必要な手術を多く行い利益を上げたが、不正請求と判断をされて被害者に対して膨大な示談費用を支払った。更に株式会社の参入により医療費は逆に増大をした等の多くの問題点を指摘されていました。このような教訓があるにもかかわらず、現在の『聖域なき構造改革』は米国型医療制度の導入に向かっていていると考えられます。

市場原理主義に基づけば患者様は顧客であり、顧客の望むサービスに答えることが良い医療となります。市場原理主義によると、患者様と医療者の関係は契約関係で成立し、契約が履行されるかどうかが大切な事となります。契約が履行されない場合は訴訟になるわけです。確かに手術を行う場合に手術が成功するかどうかは最も大切な点ですが、医療の範囲は広く必ずしも全てが契約により履行され

るものではありません。契約以上に重要な点が多々有ると思っています。最近個人情報保護法に基づき、訴訟にならないために患者様のプライバシーを配慮して病室に名前を掲げない、外来では名前を呼ばずに番号を渡して番号で呼ぶ等が一部の病院で行われており、日本の医療も医療従事者と患者様の契約関係で成り立つ社会に変化しつつあります。

医療制度は社会、宗教観、文化等によって異なっており、良いと考えています。多民族国家であり、アングロサクソンが主流の米国の医療制度が、グローバルスタンダードとして世界基準として正しいのかどうかは十分に検証する必要があります。日本は欧米と異なった農耕民族であり、単一民族としてお互いに相互扶助の精神で成り立ってきた国であります。欧米のように大金持ちはいないけれども、多くの人々が中流階級であると認識をして歩んできました。平等で公平な社会の確立を目指し、戦後世界に冠たる医療制度を成し遂げた事は紛れもない事実です。そして、その医療制度の根幹は、病める人々に対する医療人の使命感として、医療を行うことを目的として確立したと言っても過言ではありません。医療従事者の精神の根幹は患者様の様子を何時も気に掛け、悪くなれば自分の事をさておいても患者さんの所に駆けつけて、出来るだけの事を行おうとする事に基づいております。患者様と共に歩み、患者様に教えられ、治療の対価を求めず、病院は営利企業ではないとの精神が重要と考えています。将来の日本の医療制度が米国型の契約に基づいた医療制度に変わり、患者様を番号で呼ぶことが重要であるかのような、医療精神の根幹を揺るがしかねない事態に直面をしているとの認識は小生だけでしょうか。もう一度、医療の原点に立ち戻り、「何時も患者様の側にいる」「弱い立場の人々に対する思いやり」「患者様と共に歩む」を基本に置いて日本型医療制度の良き点を基本において、真の医療制度改革に向けて考えるべきではないでしょうか。

歩行を助ける歩行補助具

理学療法士 野村 貞子



歩行補助具は歩行を助ける道具です。立位歩行に安定感を与え転倒するのを防ぎます。

杖には一般的なT字型の他に三点、四点で指示するものや腕で支持するものがあります。

両手で押して歩く歩行器には車輪付のものが多いですが、持ち上げて歩く車輪のないものもあります。

杖の長さは腰の高さ（正確には股関節）に手を握る位置があるように調整します。一般的には具合の悪い足の反対側、つまり良い側の方で杖を持ちます。付添いの人は具合の悪い側の斜め後ろに立ちます。

両手で握って押して歩く歩行車も前で押して歩くものが多いようですが、両脇で握るような器種もありますので、これから使う事になる場合にはそういう物を考えられてはいかががでしょうか。身

体の前で押して歩くものは横から見ると、身体が前に倒れて曲がって見えます。歩行補助具はさすがに歩くものではなく、身体を伸ばして上から地面に向って力を入れて倒れるのを防ぐためのつかえ棒だと思うからです。ですから歩く時は身体を伸してつま先を上げ、かかとが先に地面に付くような気持で足を動かしましょう。

屋外で杖を持っていると、他の人や自転車、車等の注意を促す事になり、安全面でも良いと思いますので、長く歩く時に不安がある方は積極的に持って歩く事をおすすめします。

「転ばぬ先の杖」を実行しましょう。



患者さんからのお便り 「選手宣誓」

高多倫正

二月の半ば頃から何となく再発の兆候が見えはじめた鼠径部ヘルニア（脱腸）が、三月の声を聞くや否や現実のものとして蘇って来てしまい、伝を頼って竹内一八先生の診察、そして手術を受ける身となりました。職業（教員）柄、自分本位な私は竹内先生のご予定も考えずに（当然だという顔で）、すぐに手術をして戴きたいとお願いしてしまっていました。竹内先生は苦笑をされながらも予定表を見上げ、スペースのぎっしり詰まった場所に重ねるように私の名前を書き入れてくれました。そして振り返るや丁寧にインフォームドコンセントをされたのです。しかし、これは驚きの第一幕に過ぎませんでした。私は現在満51歳ですが、手術及び入院歴は多く手術台に乗ったことは今回を含めて五回、その他の長期入院も一回あります。

ですが、今回は違っていました。入院前の諸検査、術前の麻酔担当医である西竹先生からの懇切な説明。看護師の方による剃毛などの準備。そして、大手間となったであろう再発手術。覚醒時の患者（私）の乱暴狼藉をヒョイと躲しての手術終了。直後のケア。翌日からのきめ細かい観察加療と、流れるようなチームプレーで我儘な患者をまるで幼児をあやすように快方へと向かわせてくれました。病院スタッフの方々の患者に対する限りない勤勉、誠実な働きぶりを目の当たりにして、我身の至らなさを痛感しました。

さて、退院と共に季節も春爛漫を迎えようとしています。向こう三ヶ月の間はご指示通りおとなしく生活しようと決めていますので竹内先生どうぞご安心下さい。職場に戻りますと現在の教え

子（生徒）の中にも医療の道を志す者が多勢います。彼ら彼女らにも岡村病院のスタッフの皆さんのように患者を暖かく包み込む心を持った人間として

成長するようにと、今回の体験を伝えていきたいと思います。お世話になった皆様へのお礼の気持ちとして必ず。



「こころの一分間」

杉本 恒雄

「検温です」

午後十時、ドアにノックの音がして、
看護師が現れる。

「はい」

と、体温計がわたされる。

私は、だまって受取り、脇の下にはさむ。

その一分間。

用事を思い出した様に、さっと去る人も、時にはあるが、

多くの看護師は

「どうですか」

と声をかけてくれる。

微笑を忘れない人もいる。

一分間がたつと、脇の体温計がジーンと鳴り、

私は体温計を抜きとって看護師にわたす。

受け取った看護師は、持参の用紙に黙々と記す。

そのまま、帰る人もないではないが、

たいていの看護師は

「三十六度二分」

と云ってくれる。

なかには、やさしく

「上等です」

と励ましの声をかけてから帰る。

その時、私は、その声のやさしさにほっとする。

たった一分間

そのたった、一言

患者の私はほっとして、やすらかな気になる。

血圧測定の時、よけいである。

患者の心とは、傷つき易いと、自分でも不思議に思う。

こんなやさしい看護師さんが多いので、今度入院の時も、ここにしようと思う。

「私の故郷」

4F看護師 森 知穂

私の田舎は、幡多郡大正町下津井という所です。四方山に囲まれた何も無い所ですが、唯一自慢できるとするならば、6月中頃より蛍が見えることです。6月第1土曜日には「蛍まつり」があり、色々な催し物があって普段は静かな村ですが、その時ばかりは沢山の観光客が来て賑やかになります。薄暗くなると、ダム湖より船がでて遊覧します。川岸にたくさんの蛍の群れが飛びかっています。私の小さい時には、土手沿いに飛んでいて、よく網でつかまえたことを思い出します。5年ぐらい前に私も船に乗り見に行ったのですが、あれ程の数の蛍の群れは初めてで感動したと同時に心が洗

われるような気持ちになりました。昨年も見に帰りました。雨女のせいか台風とかちあってしまい、ダムの水かさが増し船がでるかどうかわからなかったのですが、暗くなると雨もやみ船が出るようになり、見ることができました。雨上がりもあって少ないかなと思いましたが、思ったより飛んでいて他のお客さんも「わあー」と歓声をあげていました。けど、年々蛍の数は減っていると言われます。これ以上数を減らさない様に、1人1人が気をつけなければならないと思います。

今年も、心のせんたく、仕事の疲れをいやす為
に必ず見に行こうと思います。

「個人情報についてのお知らせ」

当院では、基本理念「私たちは、患者さん本位を第一に考え高度な専門医療技術をもって地域社会に貢献することを目指します。」に基づき、患者様に良い医療を受けていただけるよう日々努力を重ねております。「患者様の個人情報」につき

ましても適切に保護し管理することが非常に重要であると考えています。そのために当院では、以下の個人情報の利用目的を定め、確実な履行に努めます。

当院における個人情報の利用目的

- 医療提供
 - ▶ 当院での医療サービスの提供
 - ▶ 他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
 - ▶ 他の医療機関等からの照会への回答
 - ▶ 患者さんの診療のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
 - ▶ 検体検査業務の委託その他の業務委託
 - ▶ ご家族等への病状説明
 - ▶ その他、患者さんへの医療提供に関する利用
- 診療費請求のための事務
 - ▶ 当院での医療・介護・労災保険、公費負担医療に関する事務およびその委託
 - ▶ 審査支払機関へのレセプトの提出
 - ▶ 審査支払機関又は保険者からの照会への回答
 - ▶ 公費負担医療に関する行政機関等へのレセプトの提出、照会への回答
 - ▶ その他、医療・介護・労災保険、および公費負担医療に関する診療費請求のための利用
- 当院の管理運営業務
 - ▶ 会計・経理
 - ▶ 医療事故等の報告
 - ▶ 当該患者さんの医療サービスの向上
 - ▶ 入退院等の病棟管理
 - ▶ その他、当院の管理運営業務に関する利用
- 企業等から委託を受けて行う健康診断等における、企業等へのその結果の通知
- 医師賠償責任保険などに係る、医療に関する専門の団体、保険会社等への相談又は届出等
- 医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
- 当院内において行われる医療実習への協力
- 医療の質の向上を目的とした当院内での症例研究
- 外部監査機関への情報提供

- 1、上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意しがたいものがある場合には、その旨をお申し出ください。
- 2、お申し出がないものについては、同意していただけたものとして取り扱わせていただきます。
- 3、これらのお申し出は後からいつでも撤回、変更等を行うことが可能です。

● ニューフェイス ●

よろしくお願ひします。



大谷里沙さん
看護師（外来）
趣味：スノーボード・インディアカ



山本美香さん
看護師（4F病棟）
趣味：旅行



川村真由美さん
看護師（外来）
趣味：家庭菜園



吉村美千代さん
看護師（外来）
趣味：油絵



下元絢賀さん
看護師（4F病棟）
趣味：音楽鑑賞



和田美幸さん
看護師（4F病棟）
趣味：料理



西尾由香里さん
看護師（3F病棟）
趣味：バレーボール



片山兎美さん
准看護師（4F病棟）
趣味：ストリートダンス・
水泳・入浴剤集め



西森景子さん
看護師（外来）
趣味：ガーデニング・バイキング



山本麻耶さん
准看護師（4F病棟）
趣味：ビデオ鑑賞



溝渕泰代さん
看護師（4F病棟）
趣味：読書



福田奈那さん
医事課
趣味：読書・犬の散歩

お知らせ

**医師 1 万 5000 人に聞いた全国優良病院
ランキングにて当院が紹介されました。**

（日経BP社 2004年10月4日 発行）

- “心臓の病気” 部門にて、当院が優良病院として評価されました。
- 特に信頼して紹介できる腕利き医師として、岡村高雄院長が紹介されました。

*「全国優良病院ランキング」は、“病院選びのプロ”である、あなたの町の開業医の先生方約1万5000人に「患者さんを安心・信頼して紹介できる病院」をうかがい、それを集計した結果です。

健康講座のご案内

日時 平成17年6月25日（土）
午後2時より
場所 高知グリーン会館2階グリーンホール
高知市本町5-6-11
TEL 088-825-2701
講演内容 「新しい心臓、血管の診断方法」
岡村病院 岡村 高雄 院長
無料ですので、どうぞお気軽にお越し下さい。



**RKC高知放送「どっくん!てれび」にて当院医師による
健康アドバイスをしています。**

“葉子のくらしのミカタの「今日の健康」” コーナーにて健康アドバイス及び健康相談を行います。

放送時間 第2・4金曜日 午後5：25頃

■ URL : <http://www.okamura-hp.or.jp> ■ E-mail : info@okamura-hp.or.jp